



『目的別』春休みのT o D oリスト！ & 今だからできる！共通テスト対策特集！

前学年の学習内容が終わったところで始まる春休み。何をしたらいい？と迷うことも多いことでしょう。学校の課題だけで十分なのか？受験のために今できることは何か？など、気になることはたくさんあると思います。今回は、春休みにやっておくべきT o D oリストを、「学年別×目的別」に分けて紹介します。「大学受験を目指す人」も、「テストを頑張りたい人」も必見です！

そして、今年度の共通テストの内容を踏まえ、英語・数学・国語について新2、3年生がこの時期にできる「差の付く共通テスト対策」をまとめました。大学進学希望者は全員共通テストを受験することになっていますので、必ず読んで参考にしてください。

★春休み「新2年生×大学受験を頑張りたい」人むけT o D oリスト

■志望校を真剣に考えよう！ 受験は高2夏から！ 考える時間は思ったより少ない！

高校2年生になると、大学受験を意識し始める人も出てくる頃ですが、まだまだ抽象的なイメージに留まっているのではないのでしょうか。いいえ、全国の2年生は、とくに受験勉強を具体的に意識して毎日過ごしている人がたくさんいます。この春、受験生の仲間入りをしましょう。

- 将来、就きたい職業があるか考えて、必要な資格や学歴を調べてみる。
- 自分の好きな科目、得意な科目から『〇〇が得意な人が向いている仕事』とweb検索してみる。
- オープンキャンパスに行ってみたい大学のホームページを見てみる。
- 家族と進学について相談する。（進学を支援してもらえる期間や学費等）

■受験生の生活リズムと学習環境を体験しよう！ いつでも切り替えられる準備を

目標を持ちにくい春休み。乱れがちな生活リズムで体調を崩さないように対策を兼ねて、受験に使える正しい生活リズムと最適な学習環境を考え、体験しましょう。受験生の気分は格段にUPLします。

- 毎日、なるべく同じリズムで生活し、体調や、食欲、学習意欲などの違いを意識してみる。
- 『起床』『食事』『学習開始/終了』『就寝』の【4点固定】を実践してみる。
- 自分が一番快適で集中できる学習空間を見つける。（自室・居間・自習室・図書館など）
- 集中に役立つグッズ等をいろいろ試す。（音楽・アロマ・耳栓など）

■1年の学習の基礎を固めよう！ 実は1年の範囲を復習する時間はかなり少ない！

『基礎固め』とは、ズバリ『教科書の理解』です。基礎固めの時間がなくなり、緊急策の問題集を解くだけになることのないように、この春が1年の『基礎固め』の最後の機会と思い、取り組みましょう。

- 1年の教科書を、最初からチェックし、節ごとに『理解している』『覚えている』『解ける』の観点でA・B・C評価する。
- 『理解していない節』『覚えていないこと』『解けない問題』を書き出す。
- 『覚えていないこと』はチェックシートを作り、最低10回繰り返して覚える。
- 『解けない問題』は解き方を調べる。（答えを見ることではない、先生や友達に聞いても良い）
- 『解けない問題』は、自力で解けるまで、最低3回は繰り返して解く。

★春休み「新2年生×定期テストを頑張りたい」人むけT o D o リスト

なぜ、定期テストを頑張るのか？ それは、定期テストで良い成績をキープすれば『推薦で大学に進学できる可能性』が開けるからです。特に『指定校推薦』で重視される成績は高3・1学期までなので、高2は『重要学年』です。

■新学期のテストに向けて計画を立てよう！

1学期は行事や祝日が多く、1学期の中間考査の範囲は少ないと思われがちですが、その分テスト勉強の時間も少なく、更に部活などでも時間を取られる可能性があります。そして、1年の教科書からも学年末考査以降の学習範囲は中間考査に含まれます。それを考慮し、学習計画を立てましょう。

- 昨年度の『中間考査』『行事』『部活』の日程を調べ、テスト勉強できるおおよその日にちを計算する。
- 新学期になってからテスト勉強に使える『日にち×1日の学習時間』を机の前に張り出す。
- 英・数・国の3教科で1年生の学年末考査後に学習した範囲を調べ、春休み中にテスト勉強を終えるよう計画を立てる。（『いつ』『何を』『何回』やるか決める）
- 新学期以降、勉強できる時間を常に意識し、春休み中は1年生範囲の学習を『計画通り』『できるまで』きっちりやり遂げる。

■苦手科目にじっくり取り組もう！ 比較的時間がある春休みは、苦手克服のチャンス！

『分からない』『覚えられない』『できない』を1つでも2つでも解決してみよう。苦手教科の小さな克服を積み重ねることで、大きな自信につながります。

- 英語の文法事項と単語を10～20個程度の小分けにして暗記と確認テストを3回繰り返す。
- 数学の定理と公式の証明を2つずつ覚え、自力で書けるまで3回以上繰り返す。
- 国語のノートで、段落のつながりを学習したところを見直し、教科書の文中のキーワードをマークして、音読しながら段落の関係をノートに図式化する練習を1つの文章につき2回以上行う。
- 特に分からないところを重点的に、『スタディサプリ』の解説を3回視聴する。

★春休み「新3年生×大学受験を頑張りたい」人むけT o D o リスト

いよいよ受験学年！残り10ヶ月を切りました。ここからは1日たりとも無駄にはできません！本気モードで受験勉強に取り組みましょう。

■共通テスト&志望大学対策を開始しよう！ 共通テストの8割は高2までの範囲から出題！

2年までの学習を終えた今、『共通テストの8割は解ける』状態です。ここからは本格的に受験対策に乗り出しましょう。共通テストの対策が早く完成すればするほど、個別試験対策に時間を割けます。個別試験対策が十分できるかどうかは、スタートダッシュにかかっています。

- 2月に実施した『大学入試共通テスト模試』を徹底分析し、反省ノートを作って、『間違えた箇所』、『分からない箇所』を書き出す。
- 反省ノートに書き出したものは、解説を読んだり、教科書で確認し、必ず解決する。
- 解けなかった問題は、自力で2回解けるまで解き直す。
- 共通テスト模試のやり直しが終わったら、共通テストの過去問を全教科解いてみる（学習していない問題を除き、時間を計って、現状時間内に解ける分量を把握する。）
- 過去問を解いたら、反省ノート記入→問題解決→解き直しのルーティーンを必ず行う。

■志望大学の赤本（進路室に行ってみよう）やホームページで過去問の傾向や難易度を知ろう！

彼を知り己を知れば百戦殆うからず（孫子）です。受験勉強を始めるにあたり、まず、自分の目指す頂の高さを正確に把握しましょう。戦う準備はそこからです。

- 進路室に行き、志望大学の赤本を借りる。（3日間借りられます。）
- 赤本の『全体分析（解答形式・分量・難易・出題の特徴）』、『大問分析』『学習対策』を書き写す。

★春休み「新3年生×定期テストを頑張りたい」人むけToDoリスト

推薦で大学進学を希望する場合、評価対象は『高3・1学期までの成績』なので、まさにこの春休みが勝負です！評定を1つでも上げるため、春休みは死力を尽くしましょう。

■必要な評定基準を確認することから始めよう！

前年度の評定基準と現在の自分の成績を把握し、きちんと目標設定をしましょう。評定基準は『指定校推薦』は進路室前に掲示、『公募推薦』はホームページ等で調べることができます。また、その他に必要な資格等がある場合は必ずチェックが必要です。

- 進路室前で2022年度の『指定校推薦一覧』から、志望大学の評定基準を書き写す。
- 『公募推薦』の2022年度の評定基準をホームページで調べ、書き写す。
- 2年次までの各教科の成績を合計し、評定基準を満たすのに必要な1学期の成績を計算する。
- 特に評定基準の高い教科や、その他必要な資格等をチェックする。

■1学期は忙しい、予習予習で攻めて定期テストを攻略しよう！

行事や部活で忙しい1学期、授業の進度に沿って進めていては、学習計画が成り立ちません。3年生になれば演習中心の授業になる教科もあります。自分でできるところはどんどん予習を進めて、授業で確認を基本としましょう。

- 昨年度の『中間考査』『行事』『部活』の日程を調べ、テスト勉強できるおおよその日にちを計算する。
- 春休みの前半は、2年学年末考査後の学習範囲のテスト対策を『計画通り』『できるまで』きっちりやり遂げる。
- 3年の教科書・副教材を購入後は、1日の範囲を決めて予習を進める（自力でできるものとできないものを区別し、ノートに授業で解決すべき課題を明記する）

2022年度大学入学共通テストの結果と来年度に向けた対策

★共通テスト平均点 ～数学が大きく難化！理系の生徒は大きなダメージ～

科目	配点	平均点 (2022)	平均点 (2021)	難易化	分量
国語	200	110.26	117.51	やや難化	やや減少
数学Ⅰ・数学A	100	37.96	57.68	難化	変化なし
数学Ⅱ・数学B	100	43.06	59.93	難化	増加
英語リーディング	100	61.80	58.80	やや易化	増加
英語リスニング	100	59.45	56.16	やや易化	ほぼ同じ



★共通テストの分析と対策

■全体

◆理系科目も含め、全体的に問題文が長文化する傾向。読解に時間と集中力が削がれる事態も。長文への耐性と読解力が全教科のカギとなる。少しの空き時間でも、平日頃文章を読むことを心がけよう。

◆共通テスト施行2年目となったが、まだ試行錯誤が続くと思われる。特に思考力・想像力を求める新傾向は、2年分の過去問での対応は難しい。見たこともない傾向の問題でも自力で思考する力が必要になる。

■現代文

◆とにかく時間に余裕があるうちに、できるだけ本を読み、文章を読むことに慣れておかなければならない。短編の小説(ライトノベルは除く)、ジュニア新書などをスマホにDLして隙間の時間に読むのも良い(無料で読めるものもたくさんある)

◆読解力を伸ばす勉強法(その1)本文を読む前に設問に目を通す方法を習慣化する設問に目を通す(目的を意識する。)

→目的に関係した重要箇所をチェックしながら文章全体を素早くザッと読み全体の流れと落ちをつかむ

→チェックした設問に対応している部分を丁寧に読む。

◆読解力を伸ばす勉強法(その2) 答えの理由とその根拠の箇所を明確に答える勉強法を身につける長文読解の問題を解く。

■数学

- ◆典型問題がほとんどなく、演習問題の解法をひたすら暗記する勉強法では思うような点数を確保できなくなっている。
- ◆問題解決の過程を重視した問題が多く出題され、複数の考え方で解く問題もあった。日頃から単なる『解き方』ではなく『問題解決の手順』を身につけることを目指し、『別解』には常に目を光らせよう。
- ◆考えるためのツールとなる『図』や『表』、『グラフ』を短時間で書くことを習慣づけよう。典型問題以外は、問題文を読むだけで解法を組み立てることは難しく、かなりの時間を取られるので、図などのツールは絶対に必要です。

■英語（リーディング）

- ◆2022年度は21年度に比べ、文章量が約450語増となっており、23年度もさらに文章量が増える可能性もあるため、長文読解のスピード・精度の重要性がますます高まる可能性。
- ◆共通テストのリーディングは全問読解問題であり、多くの受験生が抱える難問は、『時間が足りない』ことである。解決するためには、『速く読む』『一度で理解する』『最後まで疲れずにスピードと理解力をキープする』ことが必要。
- ◆まずはスピードと理解力をUPする単語力をつける！
 - ☆単語力の不足は、英文を読むスピードを落とし、理解度を落とし、スタミナを奪う。
 - ☆共通テスト英語で求められる単語は4000～5000語程度。
 - ☆学校で使っている単語帳を3～5周繰り返す計画をきっちり進める。
 - ☆スタディーサプリや英単語学習アプリ(mikanなど)を活用して、隙間時間にもコツコツ単語力を積み上げよう。
- ◆共通テストに必要な『基本の英文法』を身につける。
 - ☆学校で使っている文法の参考書をとにかく1冊頭に入れる。
 - ☆文法の出題はないので、例題はとばして文法を覚えることに集中する。



■英語（リスニング）

- ◆リスニング対策で最も効果的なのはリスニングを習慣化し、毎日続けること！（毎日リスニングで、英語の聞きやすさが格段にUPします！）
- ◆問題演習と徹底復習のセットで力を付ける。
 - 問題演習(学校のリスニング教材や共通テスト過去問／予想問題など)をする。
 - スクリプトを2～3回音読する(間違えたところは多く)
 - 音源のシャドーイングをする(自分の読み方の間違いから正しく聞こえないことも多く、かなり効果的)
 - スクリプトを見ないでスクリプト通りに聞こえるようになるまで音源を何度も聞き返す。



★19期生の進路内定状況（3月14日迄のもの）

	4年制大学等			短期大学	看護学校	専門学校 各種学校	就職		未定
	国公立	私立	大学校				公務員	民間等	
総合型	0	19		5	0	15			
公募制推薦	5	9		0	4	4			
指定校推薦		49		4	3	1			
一般入試	2	38	1	0	10	4	2	6	
合計	122		1	9	17	25	8		13



次回予告 第8号（新年度第1号）は4月12日に発行予定です。新入生、入学おめでとう号になります。掲載内容は進路実現に向けて、4月から取り組むべきことを各年次別にあげたいと思います。また、第19期生の進路先内定状況の最終版も掲載する予定です。